

出産・育児中に脱ステロイドを行った成人アトピーの経過 (30代女性)

症例 ID：001-30-FK | 記録日：2017年5月12日

1. 診断・治療前経過

松本医院に通う前は、全身に朝晩ステロイドを塗らないといけない状態でした。いつまで塗り続けるのかという負担感がありました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	全身に朝晩ステロイド外用薬を塗布していました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	松本医院での治療開始後に中止しました。
来院前／後	来院前に全身への使用歴があります。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
来院前	治療前	全身に朝晩ステロイドを塗る生活でした。
治療開始数日後	初期	煎じ薬と漢方風呂を始めて数日後、顔が腫れ上がり、全身が真っ赤になりました。ひりひり感、痒み、関節の腫れ、皮膚の落屑がありました。
強い時期	リバウンド期	人に会えず、動くのもつらいため、最低限の家事だけをして過ごしました。
通院開始から数年	中間報告	2回の出産と子育てを挟み、調子の良し悪しはありますが、少しずつ状態が変化していると感じています。

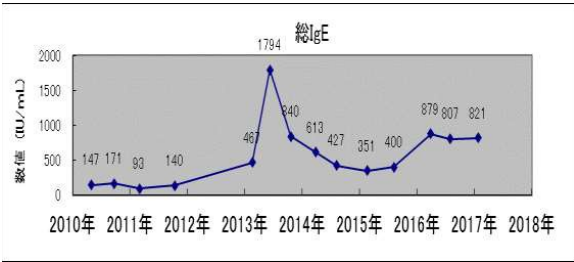
4. ピーク時期

症状が強かった時期は、治療開始数日後に顔が腫れ上がり、全身の赤み、ひりひり感、痒み、関節の腫れ、皮膚の落屑が重なった時期です。

5. 検査値

項目	内容
検査値グラフ	IgE、LDH、ピティロスポリウム、ヤケヒョウダニ、ハウスダスト、TARC、好酸球、好中球、リンパ球、VZVの推移グラフがあります。

6. 写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



画像 1 : IgE 推移グラフ。



画像 2 : LDH 推移グラフ。



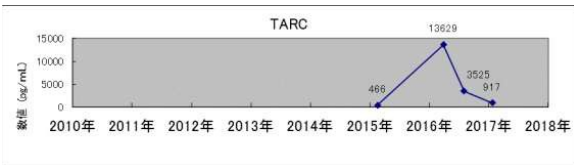
画像 3 : ピティロスポリウム推移グラフ。



画像 4 : ヤケヒョウダニ推移グラフ。



画像 5 : ハウスダスト推移グラフ。



画像 6 : TARC 推移グラフ。



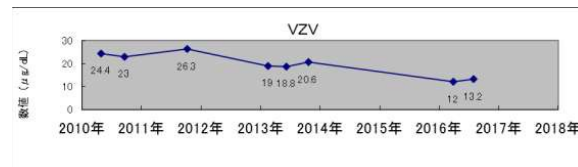
画像 7：好酸球推移グラフ。



画像 8：好中球推移グラフ。



画像 9：リンパ球推移グラフ。



画像 10：VZV 推移グラフ。

7. 困りごと

- ・人に会えず、動くこともつらく、最低限の家事だけを行う時期がありました。
- ・出産・育児と治療の継続を並行する必要がありました。

8. 経過のまとめ

治療開始数日後に顔の腫れ、全身の赤み、ひりひり感、痒み、関節の腫れが出る時期を経ましたが、通院開始から数年後には、調子の波はありながら少しずつ変化を感じる状態になりました。リバウンドや症状の強い時期を経ながらも、通院経過の中で、皮膚状態が安定に向かう変化がみられた症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。